

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生産振興課
 担当名: 主穀担当
 内線: 4145

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P31	県産麦大豆増産体制整備事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	米麦産地育成対策費		
事業期間	令和5年度～令和8年度	根拠法令	主要農作物種子条例			針路 分野施策	12 1202	儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 2, 13 SDGsターゲット 2-4, 13-1	
1 事業概要	<p>世界情勢の不安定化や気候変動の影響により、輸入穀物の供給不足への懸念が高まり、国産穀物増産の機運が高まっている。</p> <p>そこで、麦大豆の生産拡大に必要となる種子を増産するための種子生産に取り組む生産者への支援や、原種生産体制の整備を行うことで、県産麦大豆の作付拡大を進め、県民への安定した食料供給体制の構築を図る。</p> <p>麦大豆種子の増産・安定供給体制の整備 補助金等の減額 △9,434千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1)事業内容 麦大豆種子の増産・安定供給体制の整備 18,902千円 ア 麦大豆種子の2ha以上の作付拡大に取り組む生産者の農地や種子専用機械の整備に対し、補助する。 イ 原種・原原種増産のため、最新機械を導入し、効率的な生産体制を整備する。 ※技術革新による新規導入、もしくは25年以上経過した機材の更新 ウ 種子の増産に伴い増加する品質検定に対応するために必要な試験機材等の整備を行う。</p> <p>(2)事業計画 ア 補助金の創設・補助の実施 「麦大豆種子作付拡大体制整備補助金」補助率: 1/2、600万円×2法人等 イ 原種・原原種増産用機材等の導入 種子用播種機、グレンコンテナ</p> <p>(3)事業効果 麦大豆種子生産者の作付拡大及び原種・原原種生産体制の整備により、県産麦大豆の作付拡大に必要な県産種子が安定的に確保される。 【活動指標(アウトプット)】 種子生産者への補助金交付 2件、種子用播種機・グレンコンテナの導入 【成果指標(アウトカム)】 麦大豆の採種ほ面積 麦135ha 大豆10ha、県産種子の供給割合 麦89% 大豆73% 麦大豆の作付面積 麦6,530ha 大豆650ha</p> <p>(4)県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 埼玉県米麦改良協会や種子産地JAと連携し、種子の増産及び安定供給を図る。</p> <p>(5)補正予算の概要 執行節減による事務費の減額、一般競争入札、補助金の要望が見込みを下回ったことによる減額</p>						
2 事業主体及び負担区分	<p>ア 麦大豆種子作付拡大体制整備補助金 (県1/2) 事業者1/2 イ その他 (県10/10)</p>									
3 地方財政措置の状況										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	<p>9,500千円×0.8人=7,600千円</p>									
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の予算額
決定額	△9,434								△9,434	9,468
現計額	18,902								18,902	

事業内訳書

事業名	県産麦大豆増産体制整備事業		
単位事業名	麦大豆種子の増産・安定供給体制の整備	予算額	△ 9,434千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△9,434	—	
合計	△9,434	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△184	—	関係機関との打合せの減
需用費	△343	—	執行節減による発芽試験用、品質検定用消耗品費の減 執行節減による契約事務消耗品費の減
役務費	△394	—	送料・通信費の減
備品購入費	△931	—	入札差金による備品購入費の減
負担金、補助及び交付金	△7,582	—	補助金の要望が見込みを下回ったことによる減
合計	△9,434	—	